

2023年度 施策マネジメントシート【2022年度実績評価】

作成: 2023年 6月 5日

施策番号 2-1-2	施策名 社会教育の推進	基本目標 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり 政策名 豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実	
	主管課 生涯学習課	課長名 江崎 健一	内線 451
施策関係課 教育推進課			

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果		
学習機会や場の提供など学習環境の充実を図るとともに、自発的な取組への支援を図ります。		町民		・「いつでも」「どこでも」「だれでも」が学ぶことができる学習環境を整備する				町民一人ひとりが自ら進んで学習に取り組み、人と人がふれあい、心豊かに充実した生涯を過ごせるまちづくり		
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標		
① 児童生徒の社会教育事業への参加者数	生涯学習課(旧社会教育課)調べ	人	1,313	881	595	419	274	1,190		
② 生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合	住民意識調査	%	39.1	75.4	80.0	76.0	81.2	45.0		
③										
④										
成果指標 設定の考え方	①児童生徒数の減少率を考慮するも参加率を維持するもの。 ②前期計画で達成できなかった40%の目標値を超える評価を目指すもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更)									

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	148,955	115,606	141,350	113,464	101,949
人工数(業務量)	3.4688	3.7783	3.5428	3.5343	3.2291

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2022年度の成果評価 (前年度との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①の指標は、読書感想文コンクールの応募数に大きく左右されており、近年学校での取組が減少しているのが要因であるが、それ以外の事業参加者は徐々にではあるが回復してきている。 ②については、公民館、図書館、ふるさと歴史館等で実施される各種講座等の事業に一定の理解がされているものと考える。
②第5期総合計画前期実施計画の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠 (理由)	期間中は、コロナ禍の中で事業の中止や縮小等を余儀なくされてきたが、徐々に回復基調となってきたところである。 ジモト大学やコミュニティ・スクール事業を新たに推進しているところであり、徐々にではあるが取り組みが浸透してきている。 コロナ禍ではあったが、できる範囲で各種講座等の取り組みを進めてきたところである。

(2) 施策の成果評価に対する第5期総合計画前期実施計画の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	コミュニティ・スクール運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	中学生国際交流事業
③事務事業全体の振り返り(総括)	社会教育事業全般にわたり、コロナ感染症の影響による事業の中止や事業規模の縮小となるものもあったが、事業によっては徐々に回復基調にもなってきた。十分な学習機会の提供が図れない部分もあるが、その中で出来ることを実施してきたところである。 新たな人財育成事業としてジモト大学の取り組みやコミュニティスクール事業が浸透しはじめていることは明るい材料であり、これらを次年度以降につなげていくとともに既存の事業(各種講座等)を通して、社会教育活動を推進していく。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定期との比較)

担当課評価	コロナ禍による事業中止や縮小から徐々にではあるが、活動が活発化してきている。ジモト大学やコミュニティ・スクールも徐々に浸透しはじめ事業の土台は作られており、今後の拡大に期待が持てる。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	

A:実現した B:(前期実施計画策定期と比較して)大きく前進した
 D:(前期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した C:(前期実施計画策定期と比較して)前進した
 E:(前期実施計画策定期と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	・生涯学習において「いつでも、どこでも、誰でも」が自由に学べる学習環境の整備 →学習形態の進展・多様化に対応するためのデジタル学習への対応確認 ・子ども会活動の減少、高齢者学級「柏樹学園」の課題 →子ども会 地域活動や広域での連携、世代間交流の実施などによるコミュニティ活動の推進 →柏樹学園 学習プログラムの見直しと学園生確保策の再考 ・コミュニティ・スクールやジモト大学事業の取組みによる地域コミュニティの活性化、地域教育力の向上 →地域ボランティア活動の推進
	・コミュニティ・スクールの取組みについて、学校支援ボランティアの活動事例集を作成、配布し認知度向上に努めた。 ・子ども会活動の継続支援(単位会の減少や役員のなり手不足) ・ふるさと歴史館の事業充実(ねんりんフェスティバルの復活、各種講座、特別展示等の実施) ・図書館の機能充実

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

・社会教育推進中期計画(R5-R8)の着実な推進 →コミュニティ・スクールの充実。地域学校協働活動の全町的な取組みと学校運営への明確な位置づけ。地域コミュニティの活性化。 →ジモト大学事業による人財育成。人的ネットワーク形成。地域コミュニティの活性化。 →高齢者学級の学習プログラムの随時見直し。通園のための交通手段の確保。 →各種体験、交流事業の再開 ・社会教育施設の有効活用と維持管理 →公民館機能の発揮(各種講座、イベント等の再開と推進強化) →図書館機能の再点検(学習環境の在り方と電子図書の導入) →ふるさと歴史館の運営方法と事業の充実(各種講座、体験会、特別展示等の実施)
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に「変わらない又は維持した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(前期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定期と比較して)前進した D:(前期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定期と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	コミュニティ・スクールやジモト大学など熱心に取り組んで成果があがっているが、それ以外の分野は進んでいるとは言えない。期待をこめてD評価とする。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	・中年の方の生涯学習が充実を。 ・生涯学習と介護予防の融合(連携)を検討していただきたい。 ・図書館まつり実行委員のなりて不足には、CS、ジモト大学、柏樹学園との連携などの工夫があつてもよいのではないか。	A:実現した B:(前期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定期と比較して)前進した D:(前期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定期と比較して)後退した					